

歯09 歯科用研削材料
一般医療機器 歯科用ダイヤモンドバー（コード：16670000）

ニーズ F G用ダイヤモンドバー

【形状・構造および原理等】

- 1)形状・構造
歯科用ハンドピース又は歯科用回転駆動装置を接続できる軸に、ダイヤモンド粒子が付着した作業部を持つ。
- 2)各形態の使用回転数

型番
●上限 90,000回転/分
WS80 / WR30
●上限120,000回転/分
R100 / WR10,20 / CT10,20 / WR20S
●上限160,000回転/分
R80,90 / TF78,160 / P48 / R70C / F140C / TR90SC
●上限300,000回転/分
R10,20,30,40,50,60,70,110,120,130,140,150,160,170 TN30,40,50,60,70,80,100,110,120,130 IC10,20,30,40,50,60,80,90,110,120,130,160,170 P10,20,40,50,60 / TS10,20 / S20,70 TR10,20,40,50,60,63,70,80,85,90, 100,110,120,130,140 SR40,50,60,67,70,80 TF10,20,30,40,50,52,55,60,70,80,90,100,110,115, 130,140,150 SF10,30,40,50,60,70,100,110,120 TT10,20,35,40,50,60,70,80,90,100 F70,80,90,100,110,120,130,140 ST30,40,50,60,70,90,100
R40C / SF80C,100C / TN30C,60C,110C,120C TF40C,60C,70C,80C,100C,130C,140C TR50C,63C,70C,80C,110C / TT80C / F70C,80C,100C
TN30F,60F,120F / TF140F / TR60F,70F TT50F,80F,100F / F50F / F65F,70F,100F,140F
R10S,30S,50S / R110S,R130S,150S / TN30S,60S,120S IC10S,110S,120S / P40S / TF30S,70S,90S SF10S,30S,50S,60S / TR63S,70S / F30S,70S ST30S,50S,90S
R10SF,F20SF,F30SF,TF40SF,TR50SF,F60SF, F70SF,TN80SF,TN90SF,F100SF
SG016,021 / FP016,021

3)粗さの種類

カラーペイント	種類
黒	スーパーコース
緑	コース
青	レギュラー
赤	ファイン
黄	スーパーファイン

【使用目的又は効果】

歯牙、レジンおよび陶材を研削、研磨するために用いる。

【使用方法等】

- 1)使用の前に予め洗浄・滅菌して乾燥させ、汚染を避けて保管しておく。
- 2)使用時に、本品を歯科用ハンドピース又は歯科用回転駆動装置に装着する。
- 3)回転させて、振れがないかを確認する。
- 4)ソフトタッチで断続的に被切削物に押し付けて切削する。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1)ハンドピース（タービン）メーカーの指定に従ってシャンクを確実に奥まで挿入して、半チェックでないことを確認すること。
- 2)ハンドピース挿入に専用の治具が必要な機器は、必ず治具を使用すること。ネックが曲がる場合があるので、無理な圧力をかけてはめこまないこと。
- 3)予め患者の口腔外で回転させて、振れがないことを確認すること。
- 4)無理な角度、過度の加圧での使用は避けること。頭部の細い、長い、大きい形状のもの、またはネックの細いものは、折れたり曲がったりすることがある。
- 5)歯牙切削時に、こじたりねじったりするような力を加えることや、急激な回転数の変更はしないこと。
- 6)歯髄為害防止のため、十分な注水下にてソフトタッチ（フェザータッチ）で使用する。

【使用上の注意】

- 1)指定の回転数を厳守して使用すること。
- 2)損傷、変形(錆、表面キズ、曲がり)、汚染等のあるものは使用しないこと。
- 3)本品の加熱や改造は行わないこと。
- 4)目の損傷を防ぐために、保護めがねなどを使用すること。もし本品または切削屑が目に入ったときは、すぐに多量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けること。
- 5)使用中の落下により、本品を患者が誤飲しないよう注意すること。本品を使用中に異常を感じた場合は直ちに使用を中止すること。
- 6)本器具は【使用目的又は効果】の項に記載の用途以外には使用しないこと。特に、金属の研削は、ダイヤモンド粒子の剥離の原因となる。

【保管方法及び有効期間等】

水分、腐食性薬剤及びその蒸気を避けて、外圧（物理的負荷）及び汚染を受けないように保管すること。

【保守・点検に係る事項】

- 1)使用後は、歯科器具用防錆洗浄剤を用いて付着物を十分に除去した後、オートクレーブ、ケミクレーブ、乾熱滅菌又はE O Gによる滅菌を行い、よく乾燥させて保管すること。
なお、過酸化水素水は、金属腐食の原因となるので使用しないこと。
- 2)本品を洗浄・消毒する場合には手袋等を着用すること。
- 3)超音波洗浄器を用いる場合は、バーが互いにこすれあって損傷しないよう、パーホルダーを使用すること。
- 4)消毒液、消毒剤、滅菌器については、各製造業者の指示に従い正しく使用すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者
株式会社 ビーディーアール
愛知県名古屋市中天白区原4-106